

平成〇年〇月〇日

総務部
山田〇〇様

営業1課
営業担当 鈴木〇〇

顛末書

平成〇年〇月〇日 PM3:00 頃に発生した、社有車運転中の事故の件について下記の通りご報告申し上げます。

記

1. 事故発生日時と場所
平成〇年〇月〇日 PM3:00 頃 〇〇市〇区〇〇町の交差点にて
2. 事故発生状況
〇〇の交差点内右折したところ、横断中の自転車と接触。被害者は、足と手を骨折して全治〇〇ヶ月。
3. 事故原因
右折時、自転車に乗っていた被害者の横断に気付かなかった前方不注意によるもの
4. 損害
概算で被害者病院代金〇〇万円(完治まで)、自転車等物損費用〇万円、休業補償〇〇万円/(1日〇万円)、見舞金〇万円、その他は現在保険会社と交渉中
5. 現在の被害者の状況と今後の対応、
被害者は、足と手を骨折、全治〇〇ヶ月。現在は自宅療養中で休業中。〇月〇日に本人自宅へ謝罪のため訪問済み。今後の対応は保険会社と交渉中

今回のような事故が2度と行らないように定期的に講習会に参加するなど、安全運転に取り組むように注意いたします。

以上

見出しをつけた例。交通事故のように報告する項目が多くある場合は、項目ごとに整理してかけば、読み手も見やすくなる。

交通事故の場合は、相手の被害状況、原因、わかる範囲で損害額を書くようにする。会社は過失の程度を把握できるように報告書を求めるようにする。

本来始末書ではないのでお詫びの言葉をここに添える必要はないが、今後の再発防止のための対策と決意が示されている。